

東北大学法科大学院教員紹介（専任教員）

中原 茂樹 NAKAHARA Shigeki

| 学歴等  |                               |               |                              |                        |
|--|-------------------------------|---------------|------------------------------|------------------------|
| 年月   | 事項                            |               |                              |                        |
| 昭和 62 年 4 月  | 東京大学教養学部文科 I 類入学              |               |                              |                        |
| 平成 4 年 3 月   | 東京大学法学部卒業                     |               |                              |                        |
| 平成 4 年 4 月   | 東京大学大学院法学政治学研究科修士課程入学         |               |                              |                        |
| 平成 6 年 3 月   | 東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了（修士（法学）） |               |                              |                        |
| 平成 6 年 4 月   | 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程入学         |               |                              |                        |
| 平成 9 年 7 月   | 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学     |               |                              |                        |
| 職歴   |                               |               |                              |                        |
| 年月   | 事項                            |               |                              |                        |
| 平成 9 年 7 月   | 東京大学大学院法学政治学研究科助手             |               |                              |                        |
| 平成 10 年 4 月  | 大阪市立大学法学部助教授                  |               |                              |                        |
| 平成 19 年 4 月  | 大阪市立大学大学院法学研究科准教授（職名変更）       |               |                              |                        |
| 平成 21 年 10 月   | 東北大学大学院法学研究科教授                |               |                              |                        |
| 研究業績等に関する事項  |                               |               |                              |                        |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著・共著<br>の別                   | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称      | 備考                     |
| [著書]   |                               |               |                              |                        |
| 1. 条例・規則の実効の確保<br>小早川光郎編著『地方分権と自治体法務』  | 共著                            | 平成 12 年 10 月  | ぎょうせい                        | 123-142 頁、総頁数<br>270 頁 |
| 2. 誘導手法と行政法体系『行政法の発展と変革<br>〔塩野宏先生古稀記念〕上巻』  | 共著                            | 平成 13 年 7 月   | 有斐閣                          | 553-571 頁、総頁数<br>898 頁 |
| 3. Der Entwurf eines neuen Datenschutzgesetzes<br>2001 in Japan. [Rechtsfragen des Internet und<br>der Informationsgesellschaft, mposition der<br>rechtswissenschaft-lichen Fakultaten der<br>Albert-Ludwigs-Universität Freiburg und der<br>Städtischen Universität Osaka |                               | 平成 13 年       | C. F. Mueller,<br>Heidelberg | pp. 117-124            |
| 4. 日本の 2001 年個人情報保護法案 松本博之ほ  |                               |               |                              |                        |

|  |    |              |                       |                           |
|--|----|--------------|-----------------------|---------------------------|
| か編 『インターネット・情報社会と法』  | 共著 | 平成 14 年 11 月 | 信山社                   | 167-177 頁、総頁数<br>483 頁    |
| 5. ホームレス問題と法 植田政孝編『都市行政の<br>フロンティア-大阪市政を中心として』   | 共著 | 平成 15 年 9 月  | 都市問題研究会               | 117-133 頁、総頁数<br>183 頁    |
| 6. 証券取引法上の課徴金について『現代の行政紛<br>争〔小高剛先生古稀祝賀〕』  | 共著 | 平成 16 年 1 月  | 成文堂                   | 233-246 頁、総頁数<br>573 頁    |
| 7. 市民と公務員の行政六法概説   | 共著 | 平成 16 年 1 月  | 行政管理研究センター            | 総頁数 233 頁 分担<br>者として全体を担当 |
| 8. 誘導手法としての租税・賦課金・補助金 芝池<br>義一ほか編『行政法の争点〔第 3 版〕』   | 共著 | 平成 16 年 9 月  | 有斐閣                   | 202-203 頁、総頁数<br>250 頁    |
| 9. 課徴金制度の現状と課題『行政上の義務履行確<br>保等に関する調査研究報告書』   | 共著 | 平成 18 年 2 月  | 日本都市センター              | 77-85 頁、総頁数 167<br>頁      |
| 10. Erfuellung der Verwaltungsaufgaben durch<br>ausserstaatliche (selbstaendige) oder<br>private Organisationen. [Verbaende und<br>rganisationen im japanischen und deutschen<br>Recht, Japanisch-Deutsches Symposium Osaka<br>2005                                      | 共著 | 平成 18 年      | Carl Heymanns Verlag  | pp. 277-280               |
| 11. 自治体による誘導手法の可能性と法的限界<br>橋本信之編『21 世紀の都市活力』   | 共著 | 平成 18 年 10 月 | 都市問題研究会               | 125-140 頁、総頁数<br>140 頁    |
| 12. 国家以外の団体または民間団体による行政任<br>務の遂行 松本博之ほか編 『団体・組織と法』   | 共著 | 平成 18 年 10 月 | 信山社                   | 313-320 頁、総頁数<br>391 頁    |
| 13. 中小企業と行政法 高橋眞ほか編『中小企業<br>法の理論と実務』   | 共著 | 平成 19 年 3 月  | 民事法研究会                | 174-183 頁、総頁数<br>620 頁    |
| 14. 行政上の誘導 磯部力ほか編『行政法の新構<br>想Ⅱ』  | 共著 | 平成 20 年 12 月 | 有斐閣                   | 203-216 頁、総頁数<br>367 頁    |
| 15. 説明責任を果たすための文書管理 村松岐<br>夫ほか編『分権改革は都市行政機構を変えたか』  | 共著 | 平成 21 年 3 月  | 第一法規                  | 185-204 頁、総頁数<br>272 頁    |
| 16. Verwaltungsrechtliche Sanktionen und<br>Rechtsdogmatik. [Die Bedeutung der<br>rechtsdogmatik fuer die Rechtsentwicklung, Ein<br>apanisch-deutsches Symposium   |    | 平成 22 年      | (Verlag Mohr Siebeck) | pp. 113-118               |
| 17. Wirtschaftsorientierte Handlungsformen<br>der Verwaltung und Theorie des öffentlichen<br>Rechts. [Heinz-Dieter Assmann, Tamotsu<br>Isomura, Hiruyuki Kansaku, Zentaro Kitagawa<br>u. Martin Nettesheim(Hrsg.), Markt und Staat<br>in einer globalisierten Wirtschaft | 共著 | 平成 22 年 10 月 | Mohr Siebeck          | 229-236 頁、総頁数<br>281 頁    |

|   |    |              |       |   |
|---|----|--------------|-------|---|
| 18. 行政制裁と法ドグマ－ティク 松本博之・野田昌吾・守矢健一 編『法発展における法ドグマ－ティクの意義』  | 共著 | 平成 23 年 3 月  | 信山社   | 101-106 頁、総頁数 392 頁                                 |
| 19. 行政機関個人情報保護法 第 4 章第 2 節 訂正 (第 27 条～第 35 条) 高橋 滋・斎藤誠・藤井昭夫編『条解行政情報関連三法－公文書管理法・行政機関情報公開法・行政機関個人情報保護法』 | 共著 | 平成 23 年 10 月 | 弘文堂   | 655-673 頁、総頁数 765 頁                                 |
| 20. 事例研究行政法〔第 2 版〕  | 共著 | 平成 23 年 4 月  | 日本評論社 | 2～16 頁、25～36 頁、52～57 頁、91～102 頁、354～367 頁、総頁数 520 頁 |
| 21. ブリッジブック行政法〔第 2 版〕   | 共著 | 平成 24 年 3 月  | 信山社   | 2～12 頁、75～90 頁、124～142 頁、163～179 頁、総頁数 325 頁        |
| 22. 行政法判例集Ⅱ救済法  | 共著 | 平成 24 年 10 月 | 有斐閣   | 142～168 頁、255～270 頁、総頁数 486 頁                       |

[論文]

|  |    |              |                         |                   |
|--|----|--------------|-------------------------|-------------------|
| 1. 金銭賦課を手段とする誘導の法的構造および統制                            | 単著 | 平成 6 年 12 月  | 本郷法政紀要                  | 3 号 181-213 頁     |
| 2. 情報公開の費用負担   | 単著 | 平成 13 年 4 月  | 都市問題研究                  | 53 巻 4 号 62-75 頁  |
| 3. 自治体による誘導手法の可能性—法定外税を中心に                           | 単著 | 平成 18 年 5 月  | 地方自治                    | 702 号 2-11 頁      |
| 4. 交通反則金制度   | 単著 | 平成 19 年 3 月  | ジュリスト                   | 1330 号 10-16 頁    |
| 5. ドイツ地方自治制度調査について                                   | 単著 | 平成 19 年 4 月  | 地方自治                    | 713 号 2-13 頁      |
| 6. 環境税の法的問題. [環境法政策学会 編『気候変動をめぐる政策手法と国際協力 : その現状と課題』 | 単著 | 平成 22 年 8 月  | 環境法政策学会誌 13 号           | 35-41 頁           |
| 7. 道路占用許可および占用料をめぐる法的課題                              | 単著 | 平成 22 年 8 月  | IATSS review (国際交通安全学会) | 35 巻 2 号 98-102 頁 |
| 8. 行政上の制裁・誘導と訴えの利益                                   | 単著 | 平成 24 年 6 月  | 法学 (東北大学法学会)            | 76 巻 2 号 97-113 頁 |
| 9. 規制権限の不行使と国家賠償責任                                   | 単著 | 平成 24 年 8 月  | 法学教室                    | 383 号 24-33 頁     |
| 10. 行政権の濫用   | 単著 | 平成 24 年 11 月 | 論究ジュリスト                 | 3 号 12-18 頁       |

[判例評釈]

|   |    |            |      |                    |
|---|----|------------|------|--------------------|
| 1. 架空接待費支出を原因とする賠償責任に基づく債務が、公務員等の懲戒免除等に関する法律 5 条但書に該当し、減免の対象とならないとされた事例 | 単著 | 平成 9 年 3 月 | 自治研究 | 73 巻 3 号 104-113 頁 |
|---|----|------------|------|--------------------|

|   |    |              |                                  |                              |
|---|----|--------------|----------------------------------|------------------------------|
| 2. 大阪府水道部が事業の施行のために行った懇談会等に係る公文書の大阪府公文書公開等条例（昭和 59 年大阪府条例第 2 号）8 条 4 号又は 5 号該当性 | 単著 | 平成 9 年 5 月   | 法学協会雑誌                           | 114 巻 5 号 574-582 頁          |
| 3. 生活保護申請に対する決定の送達方法  | 単著 | 平成 12 年 3 月  | 社会保障判例百選〔第 3 版〕                  | 196-197 頁                    |
| 4. 怠る事実に係る監査請求と監査請求期間   | 単著 | 平成 15 年 6 月  | 平成 14 年度重要判例解説〔ジュリスト臨時増刊 1246 号〕 | 42-44 頁                      |
| 5. 別荘住民の水道料金格差  | 単著 | 平成 15 年 10 月 | 地方自治判例百選〔第 3 版〕                  | 108-109 頁                    |
| 6. 新潟県主催懇談会への出席者氏名等の不開示事由該当性  | 単著 | 平成 17 年 6 月  | 民商法雑誌                            | 132 巻 3 号 405-411 頁          |
| 7. 優良運転者である旨の記載と訴えの利益(最高裁平成 21 年 2 月 27 日第二小法廷判決)                               | 単著 | 平成 22 年 3 月  | 判例セレクト 2009〔2〕<br>法学教室 354 号別冊付録 | 10 頁                         |
| 8. 品川区マンション事件   | 単著 | 平成 23 年 10 月 | 環境法判例百選（第 2 版）                   | 166-167 頁                    |
| 9. 地方議会議員解職請求代表者の資格制限を定めた委任命令の違法性   | 単著 | 平成 23 年 4 月  | 平成 22 年度重要判例解説〔ジュリスト臨時増刊 1420〕   | 44-45 頁                      |
| 10. 質問検査権.〔租税判例百選（第 5 版）〕   | 単著 | 平成 23 年 10 月 | 租税判例百選（第 5 版）                    | 200-201 頁                    |
| 11. 労働安全規制と国家賠償責任   | 単著 | 平成 24 年 11 月 | 行政判例百選Ⅱ（第 6 版）                   | 474-475 頁                    |
| [書評]  |    |              |                                  |                              |
| 1. (書評) 櫻井敬子著『行政法講座』  | 単著 | 平成 23 年 9 月  | 行政管理研究                           | 132 号 45-48 頁                |
| [翻訳・論文紹介]   |    |              |                                  |                              |
| 1. 学界展望・財政法: Umweltschutz durch Abgaben und Steuern                             | 単著 | 平成 7 年 11 月  | 国家学会雑誌                           | 108 巻 11・12 号<br>1408-1410 頁 |
| 2. 学界展望・行政法: Fondsloesungen im Umweltrecht                                      | 単著 | 平成 8 年 9 月   | 国家学会雑誌                           | 109 巻 9・10 号<br>949-951 頁    |
| 3. (翻訳) フリードリヒ・ショッホ「環境適合性審査の基本問題」松本博之ほか編 環境保護と法                                 | 単著 | 平成 11 年 8 月  | 信山社                              | 87-117 頁                     |
| 4. (翻訳) アンドレアス・フォスクーレ「情報社会の行政—情報行政組織法」松本博之ほか編『インターネット・情報社会と法』                   | 単著 | 平成 14 年 11 月 | 信山社                              | 137-166 頁                    |
| 5. 学界展望・行政法: Das Kompensationsprinzip   | 単著 | 平成 15 年 7 月  | 国家学会雑誌                           | 116 巻 7・8 号<br>851-854 頁     |

|   |    |              |     |           |
|---|----|--------------|-----|-----------|
| 6. (翻訳) フリードリヒ・ショッホ「国家の秩序<br>枠組みのなかでの社会の自己統御」松本博之ほか<br>編 『団体・組織と法』                            | 単著 | 平成 18 年 10 月 | 信山社 | 293-311 頁 |
| 7. (翻訳) フリードリヒ・ショッホ「国家任務の<br>民営化における法ドグマーティクの役割」松本博<br>之・野田昌吾・守矢健一 編 『法発展における法<br>ドグマーティクの意義』 | 単著 | 平成 23 年 2 月  | 信山社 | 107-129 頁 |

[その他]

|                                   |    |         |      |                |
|-----------------------------------|----|---------|------|----------------|
| 1. 市場化テスト 条例実務の要点[追録 36-39<br>号]  | 単著 | 平成 19 年 | 第一法規 | 2811-2811 の 15 |
| 2. レジ袋の有料化 条例実務の要点[追録<br>43-45 号] | 単著 | 平成 20 年 | 第一法規 | 7771-7779      |

学会及び社会における活動等

| 年月           | 事項                              |
|--------------|---------------------------------|
| 平成 18 年 4 月  | 財団法人自治体国際化協会比較地方自治研究会委員 (現在に至る) |
| 平成 20 年 2 月  | 工業所有権審議会 弁理士試験委員 (現在に至る)        |
| 平成 22 年 5 月  | (新) 司法試験考査委員 (行政法) (現在に至る)      |
| 平成 22 年 9 月  | 東北防衛局入札監視委員会委員 (平成 25 年 8 月まで)  |
| 平成 22 年 12 月 | 日本公法学会総会テーマ企画委員会委員 (現在に至る)      |
| 平成 24 年 4 月  | 税務大学校仙台研修所講師 (平成 24 年 6 月まで)    |
| 平成 24 年 12 月 | 日本公法学会総会運営委員会委員 (現在に至る)         |